

児童が自らの考えを深めることができる学習指導の在り方 ICTの活用を通して

第4学年 国語科学習指導案

平成28年6月8日(水)

児童数 33名

1 単元名 場面のうつりかわりに気をつけて読もう
教材名 いわたくんちのおばあちゃん

2 単元の目標

場面の移り変わりに注意しながら読み、登場人物の気持ち想像する。

3 評価規準

・場面の移り変わりに注意し、叙述を基に登場人物の気持ちを想像しようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

・場面の移り変わりに注意しながら叙述を基に登場人物の気持ちを想像し、登場人物に対する自分の考えもっている。

・作品を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。

【読む能力】

・登場人物の会話に、それぞれの思いが表現されていることに気付いている。

【言語についての知識・理解・技能】

4 単元について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の目標

(3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

第3学年及び第4学年の内容【C 読むこと】

(1)

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

を受けて設定したものである。

児童は、3学年の時に上記の目標・内容を「わすれられないおくり物」で学習した。季節によって場面が変化し、それに伴って登場人物の心情も変化していくことに気付くことができた。

場面の変化を正しく把握する力を身につけることは、今後の児童一人一人の読書生活に大いに役立つことと考える。

今回の教材である「いわたくんちのおばあちゃん」は、

①運動会当日の「ぼく」の視点 ②数日前に平和学習を受けた「ぼく」の視点 ③原爆投下直前・直後・翌日の「ちづこさん」の視点 ④数日前に平和学習を受けた「ぼく」の視点 ⑤運動会当日の「ぼく」の視点

という流れで構成されている。既習である「場面は、時間が変わることによって変化する。」ということに加えて、児童には「場面は、登場人物の視点の変化によって変わる。」ということをつかませたい。

3次では、学びを広げるに掲載されている「一つの花」を含めての感想交流の場を設けた。2次で学習した教材だけでなく、類似したテーマの作品を自力で読み、どのような思いや考えをもったのかを自分の言葉でしっかり伝え、また、友達の思いや考えを聞くことにより、思いや考えには違いがあることに気付かせたい。

5 児童の実態

本単元実施にあたり、アンケートを行った。結果は以下の通りである。

1. あなたは、国語の学習は大切だと思いますか。

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
83%	17%	0%	0%

アンケートに回答した児童全員が、国語の学習は大切であると答えている。自由記述からも、国語は将来の自分にとって大切なものと認識していることが分かる。

2. あなたは、国語の学習が好きですか。

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
23%	57%	13%	7%

8割の児童が、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えている。予想以上に多かった。その一方で、2割の児童が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えている。

3. あなたは、国語の中でも「物語」の学習が好きですか。

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
76%	18%	3%	3%

物語の学習に肯定的な印象をもっている児童が9割以上である。「主人公は誰かを皆で検討するのがおもしろい。」「登場人物の気持ちを想像するのがおもしろい。」等、自分が考える余地が多いのと、周囲と交流する場面が多いのが肯定的な結果が出た主な理由である。

CRT「読み」の結果から分かる通り、好きであることが「読み」の能力に結びついていないことが、課題となっている。

4. あなたは、話し合い活動や友達の発表を聞くなどして、自分の考えが深まったと感じたことはありますか。

ある	ない
87%	13%

「友達が自分と同じ考えを話したことによって、自分の考えに自信がもてた。」「友達が話したことで、割れていた意見が一つにまとまった」「自分と違う考えを聞くのがおもしろい。」等、周囲との交流による効果を実感している児童が多かった。一方で、「友達の考えによって自分の考えが変わったことはない。」との記述もあった。

5. あなたが物語を読んでいて、「場面が変わった」と思うのはどんな時ですか。

本時の学習にかかわる既習をきいたところ、「季節や時間が変わるとき」「場所が変わるとき」という回答があった。一番多かった回答は、「文章と文章の間にすき間があいているところ」という文中の形状から分かるものであった。一人だけ、「何かが変わるとき」という回答があった。その「何か」が今回は「登場人物の視点」であることに、気付かせたい。

6 研究主題にせまるために工夫した点

〈思考力・判断力・表現力を高めるために〉	〈具体的な手立て〉
<p>○ 児童の興味・関心を喚起し、問題意識をかきたてる教材を用意する。</p> <p>○ 自らの見方、考え方を深めることができる展開にする。</p> <p>○ ICTを有効に活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童にとって遠い過去の存在となっている「戦争」「原爆」が、現在の社会と結びついていることを意識させるために、新聞記事を用意する。 ・ 児童にとって、初めて戦争を扱った教材で学習することになる。そのため、学校図書館と連携し、今回の学習に関連した書籍を教室に用意し、児童がいつでも手に取ることができるようにし、当時の時代背景が少しでもイメージしやすい環境を整える。 ・ 周りの児童がこの教材に対してどのような思いや考えをもっているのか、自分と同じ考えなのか違うのかを比べやすくするために、感想一覧を用意する。 ・ 中心人物の検討や場面分け等物語の構造や枠組を明確にしてから、登場人物の気持ちの変化にせまるという指導の流れにする。 ・ 自分の考えを述べる時は、必ず叙述を根拠とするように指導する。 ・ 1次、2次の学習で得た力を3次で生かすため、戦争をテーマとした他の物語「一つの花」を自力で読み、交流活動を通して、自分と友達の思いや考えを比べ、その違いやよさに気付く場を設ける。 ・ タブレットPCの「デジタルスクールノート」を使い、登場人物の関係を把握するために書き込みをしたり、場面分けを説明するためのプレゼンテーション用として使ったりする。

7 指導計画

時数	主な学習活動	指導上の留意点・支援 [思考力・判断力・表現力を高めるために] ◇ I C T の活用	・ 評価（手段）
一次 1	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">心にのこったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いわたくんちのおばあちゃん」の範読を聞き、簡単なあらすじをつかむ。 ○初読の感想を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った言葉 ・心に残ったこと ・疑問に思ったこと ○初読の感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落は、53段落であることをおさえる。 ・感想を書くための観点を示す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>周りの児童がこの教材に対してどのような思いや考えをもっているのか、自分と同じ考えなのか違うのかを比べる場を設ける。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 関 全文を通読し、自分なりの考えや思いをもっている。 (ふり返しシート・発言)
二次 2	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">登場人物の人間関係を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の人間関係、および性格をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちづこさん」の娘がいわたくんのお母さん、孫がいわたくんであることをおさえる。 ・性格については、物語の叙述からわかる範囲で書くよう伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ T P C ちづこさん一家の集合写真を 使い、必要事項を書きこむ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 読 作品の設定を読み取っている。 (タブレットPC・ノート)
3	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">5つの場面にするためには、どこで分ければよいか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全文を読む。 ○自分なりの基準をもって、5つの場面に分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の数は5つであるという大枠を伝える。 ・既習の力を使って分けるよう促す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ T P C 5つの場面に分けた、自分の考えをデジタルスクールノートに記入する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 読 場面の移り変わりに注意しながら、物語のおおまかな構成をつかんでいる。(発言・ノート)
4 (本時)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">この物語は、何によって場面がかわっていくのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小グループで2回話し合う。 ○学級全体で場面の確認をし、まとめる。 ○音読をすることにより、場面の移り変わりで視点が変化していることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた場面分けが、何を基準にして分けたものかをグループのメンバーに伝えるように話す <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ T P C デジタルスクールノートをプレゼン用として活用する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 読 物語の場面を、自分なりに根拠をもって分け、表現している。 (発言・タブレットPC) 知 場面の移り変わりが「登場人物の視点の変化」によって成り立つ場合があることを理解している。 (発言・ふり返しシート)

5	<p>いわたくんのおばあちゃんが「いやあよ。」と言って写真をとられることを断る理由を考えよう。</p> <p>○情景や心内語を基にして、おばあちゃんが写真を撮られたくない理由を考える。</p>	<p>・叙述を基に、「いわたくんのおばあちゃん」が感じたことを想像する。</p> <p>自分の考えを述べる時は、必ず叙述を根拠とする。</p>	<p>読 叙述を基にして、おばあちゃんが写真をとられたくない理由を読み取っている。(発言・ノート)</p>
6	<p>「ぼく、知っとるんよ」と言った「ぼく」は、どんなことを知っているのか考えよう。</p> <p>○「平和学習」を通して、ぼくが考えたことを読み取る。</p>	<p>・叙述を基に、「ぼく」が感じたことを想像する。</p> <p>自分の考えを述べる時は、必ず叙述を根拠とする。</p>	<p>読 「平和学習」を通して、「ぼく」が感じたちづこさんの思いを想像している。(発言・ノート)</p>
三 次 7	<p>「一つの花」を読み、「いわたくんのおばあちゃん」と比べながら、感じたこと、考えたことを書こう。</p> <p>○お父さんの「一つだけ」という言葉にこめられた、ゆみ子への思いを想像し自分なりの考えを書く。</p>	<p>第6時まで学習した物語の構造のとらえ方、読み取り方を生かして文章を書く。</p>	<p>読 場面の移り変わりや登場人物の心情の変化を読み取り、自分の感じたこと考えたことを書いている。(ノート)</p>
8	<p>感想の交流をしよう。</p> <p>○前時に書いた文章を使い、グループで感想の交流をする。</p> <p>○単元全体の「ふり返し」を書く。</p>	<p>交流活動を通して、自分と友達の思いや考えを比べ、その違いやよさに気付く。</p>	<p>読 2つの物語を通して自分の感じたこと考えたことを相手に伝え、一人一人の感じ方に違いがあることを気付いている。(発言・ふり返しシート)</p>

8 本時の学習活動(4/8)

- (1) ねらい
場面の移り変わりが「登場人物の視点の変化」によって成り立つ場合があることを理解する。
- (2) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援 思考力・判断力・表現力を伸ばすために ◇ I C T の 活 用	評 価 (手 段)
1 本時の課題を把握する。 (4分)		
この物語は、何によって場面が変わっていくのか考えよう。		
2 小グループで1回目の話し合いをする。(8分) ・タブレットPCへの記述内容を見せながら話す。	◇電子黒板 ・8分間の内容を以下のように伝え、表示する。 ○一人の持ち時間はおよそ2分間 ○残った時間で相違点について話し合い自分の考えを修正する。	
3 小グループの編制を変えて2回目の話し合いをする。(8分) ・1回目の話し合いで自分の考えが変わった場合は、なぜ変えたのかグループのメンバーに理由を伝える。	前時に自分で考えた場面分けが、何を基準にして分けたのかをグループのメンバーに伝えるように話す。 ・話し合いが滞っているグループを見つけ机間指導する。	考物語の場面を、自分なりに根拠をもって分け、表現している。 (発言・タブレットPC)
4 学級全体で場面の確認をする。(10分)	◇TPC ・予め、「デジタルスクールノート」に、自分の考えた場面分けの案を書き込む。 1 場面 (運動会) ①～⑦ (話し手) 「ぼく」 2 場面 (平和学習) ⑧～⑱ 「ぼく」 3 場面 (昭和20年8月の広島) ⑳～㉔ 「ちづこさん」 4 場面 (平和学習) ⑵ 「ぼく」 5 場面 (運動会) ⑶～⑸ 「ぼく」 ・分け方の根拠として、「時間」「時代」以外が出なかった場合、他に変わったものはないのか、児童に問いかける。	
5 本時をまとめる。(5分)		
この物語は、「時間の変化」と「だれが語っているか」によって場面が変わる。		
6 音読をすることにより、場面の移り変わりで視点が変わっていることを確かめる。(5分)	・11段落から14段落までを一斉読みで音読するよう伝える。	

<p>7 本時のふり返りをノートに書き、発表する。(5分)</p>	<p>・本時の学習により、自分の中で変わったこと(例:場面分けに対する認識の変化)が分かるような内容にするよう児童に伝える。</p>	<p>知 場面の移り変わりが「登場人物の視点の変化」によって成り立つ場合があることを理解している。(発言・ふり返しシート)</p>
-----------------------------------	--	---

9 板書計画

この物語は、「時間の変化」と「だれが語っているか」によって場面が変わる。

児童の場面分けの案	児童の場面分けの案
児童の場面分けの案	児童の場面分けの案

今までの場面分け

- ・時間が変わる。
- ・季節が変わる。
- ・場所が変わる。
- ・だん落とだん落の間があいている。

他にもある？

この物語は、何によって場面が変わっていくのか考えよう。

1 場面 ① 運動会

2 場面 ⑧ 平和学習

3 場面 ⑳ 昭和二十年八月

4 場面 ㉔ 平和学習

5 場面 ㉙ 運動会

時間が変わる

話し手が変わる

ぼく

ぼく

ちづこさん

後からつけ加える。